

【恐るべき学力除去装置・・・スマホ・iPhone】※再掲載

勉強量の割に成績が伸びない原因・・・キレイなノートづくりに捕らわれる「作業勉強」、音楽やテレビを見ながらの「ながら勉強」、わかって勉強を終わらせてしまい演習問題をやらない「しったか勉強」など、MIECの授業中に見られる生徒のニセモノ勉強はほとんど改善に努めています。しかしここ数年、ニセモノ勉強ではないのに、素直に寺子屋・修業をたくさん予約するのに、「なかなか理解できない」「先生との会話が成立しない」「覚えたことをすぐに忘れる」生徒が散見されるようになりました。そしてその原因の1つがどうやら携帯(スマホ・iPhone)にあることをほぼ確信するに至りました。最近読んだ本で新たな気づきがありましたので共有したいと思います。【スマホを持っていない生徒より、1日平均使用時間が1時間未満の生徒の方が学力が高い】というデータがあります。これは後者が自己抑制能力で上回っていることを示唆し、その能力が学習にも生きているのです。もう一点。【勉強を全くしないがスマホも全くしない生徒の成績は、勉強を毎日4時間以上するがスマホを2時間以上している生徒の成績より勝るといふ事実】。つまりスマホが脳を破壊しているのです。正しい勉強ができないということです。4時間の勉強を2時間のスマホが消去しているのです。恐ろしいことです。スマホとの共生が must の時代に「持たない」は非現実的。ならば今の中高生が「スマホ1時間未満」に自己抑制する能力をどう養うか??大人の指導能力が問われる時です。もしかすると今国会で通すべき法案は「働き方改革」ではなく「小中高生スマホ・iPhone 規制法案」かもしれません。そして今の MIEC では残念ながらいくら寺子屋・修業・SEをやるうが、携帯を1日60分以上する生徒の成績を上げることは不可能です。ご了承下さい。※『スマホが学力を崩壊する』参照。

二学期期末テスト対策

内申点は学校の先生による5段階評価で数値化されますが(これは物凄い責任を伴う仕事です!)、その評価基準のほとんどが年数回の定期テストです。中でも最も日数の長い二学期の期末テストは学習範囲も最も長いのでその中核を成します。目前です!

MIECではその広いテスト範囲表が出てから連日生徒に「成績を上げたかったら宿題の青矢印にハンコをつけること、それだけです!」と伝えています。しかし、通常授業だけでは理解不足、暗記不足でなかなかハンコが付きません。だから寺子屋があるのです。しかし寺子屋にきても宿題を

やっていない生徒は授業になりません・・・だから修業(自習)があるのです。このテスト前こそ、MIECの寺子屋・修業システムを利用すべきだと思います。ただし、その使用法は注意が必要です。そのことを含め、テスト直前期学習の注意点をまとめてみました。ご家族の皆様と足並みを揃えたいところです。

- ① **学校の授業を真剣に受けること!** 定期テスト作成者(学校の教科担任の先生)の授業です。言葉を換えるなら、「授業でテスト問題と答えを言ってくれているようなもの」です。「どうせあとでMIECでやるから・・・」などと決して考えさせないでください。実はMIECの授業中でも学校での授業を教えてもらったばかりの部分が全く理解も記憶もされていない生徒さんがたまにいます。これは大問題です。MIECはあくまで学校で取りこぼした部分を補強する場所です。MIECで一から教えるとなると最低4倍のコマ数が必要です。しかも真剣に学校の授業を受ければ授業態度も改善され、高評価につながり一石二鳥でもあるのです。
- ② **指導外教科や芸能教科を意識すること!** 内申点は9教科の総合評価であることを無意識のうちに忘れていた生徒がいます。当たり前ですが、数学「5」・美術「2」の生徒と、数学「2」・美術「5」の生徒は全く同じ評価となります。学年順位は主要5教科のみのものですので、生徒たちはどうしても芸能教科の学習を後回しにしがちです。また、MIECの指導教科にとらわれすぎると指導外教科で足をすくわれることも考えられます。そうなるとうちで自宅学習時間もしっかりとってもらい、バランスよく学習してゆくことが求められます。MIECの指導教科を5教科にするという方法もひとつの対応策です。
- ③ **MIECに来ればよいというものではない!** テスト直前になると「寺子屋・修業に来ます!」という生徒が急増します。しかしここでも再確認したいことがあります。まず「寺子屋」ですが、これはあくまで「ルール通り宿題をやってあり、ハンコ1つ分以上の質問やチェックの準備ができています」場合に限っています。修業も「自宅でも学習するが、MIECの自習室も利用する!」というプラス志向が原則です。MIECを利用すればするほど成績が伸びる生徒もたくさんいますが、どうも「MIECに居る時間が長いと成績がひとりでに上がる!」のような迷信を信じている生徒がチラホラ見られます。これは保護者の方々から「どうしてあんなに長い時間MIECに行ってるクセに成績上がらないの!」というお叱りの元凶となるものです。ノートをきれいに書いてただけで勉強したつもりになるのと同様、MIECに居るだけではダメです。

テストに関する三つのお願い

お願いその①: **お子様の『自分用進度表』に目を通してくださいますか?**

生徒たちの勉強の足跡が手に取るようにわかると思います。青い矢印(=宿題)が多く残っていませんか? 赤丸(=先生のハンコ)が少なくありませんか? 学校進度よりも遅れてはいませんか? 教科に偏りはありますか? 世の中には努力が報われないことや因果関係がわかりづら

いことがたくさんありますが、「学力」は努力と結果が密接です。MIECの「進捗表」のハンコの数というもののほど、生徒たちの日々の努力が可視化されたものはないのではないかと自負しております。テスト結果が出てからではなく、努力の過程でいかにマメに評価してあげる(「今日はハンコが10個もついたね!」とか…)かがポイントだと思います。★進捗表の見方は後述。

お願いその②:テスト2週間前からは「塾優先」にしてくださいませんか?

MIECは欠席しても寺子屋・修業で穴埋めができます。しかし、過ぎ去った時間を呼び戻すことはできないのですから、実質的には穴埋めは決してできないのです。特に結果に直結するテスト前2週間の授業は代えがたいものとなります。欠席理由ベストスリーは、①「具合が悪いので休みます」②「家の用事で休みます」③「部活が長引いたので休みます」ですが、それぞれ程度の問題ですよね。「骨折しても休まない!」「家族で出かけても自分だけはMIEC!」「部活を早引きして自分はMIEC!」という生徒が存在するのも事実で、そのような価値観の生徒は必ず成績が上がります。少なくとも定期テストや学力テストの2週間前はよほどの理由が無い限り欠席させないようにご協力をお願いします!

お願いその③:テスト2週間前からは寺子屋・修業にご協力を! (※利用可能な方)

これまで述べたことと重複しますが、勉強時間の確保にご協力ください。当然、第一には家庭学習を促してください。そして「自分の部屋にこもっているが何をやっているか不安」とか「やっているという割には進捗表の進みが悪い」という場合は、MIECの寺子屋や修業への参加を呼びかけてください。私からは毎回の塾で次のように伝えていきます。「青い矢印が残っている生徒は自宅学習や修業が足りない証拠」「やってありマークが残っている生徒は寺子屋が足りない証拠」と。実行できないときには日曜寺修などで強制することもあります。これが実行できるからこそ成績アップにつながるのです。

ただ、各ご家庭に送り迎えや夕飯時間などのご都合がございますでしょうから、一時間単位で隙間の時間を作るにはやはりご家庭での調整が必要だと思っております。ある程度以上の強制は控えるようにしております。

もし、「ウチの子には強制力を強く(弱く)してほしい!」と思われる場合は、どうかお電話・メールをください。もう少し違った語りかけをしてゆきたいと思っております。



MIECのしくみ【G個】

ここで今一度MIECの授業のしくみについてご紹介します。まず、塾からは生徒一人一人個別に宿題を出します。進度も学力も意欲も志望高校もまちまちですから、宿題の出し方は本当に一人一人異なります。そして塾では、生徒たちが自宅でやってきた宿題について、まず質問を受け教えます。質問が無い場合でも「本当に理解しているのか」「知識は定着しているのか」を先生がチェックします。このチェックをパスしない限り進捗表にはハンコを押しません。チェックのレベルは生徒毎に異なります。その生徒の実力や志望高校や意欲などを総合的に判断の上でチェックを進めています。

宿題のチェックを授業中に終わらせるのが理想ですが、なかなかそうはいかずに宿題が残ります。では、なぜチェックが進まないのか?いくつかのパターンがあります。

◎ パターン1:宿題を自宅でやらなかった場合。

「部活動の疲れ」「病気」「学校の宿題優先」など事情がある生徒は別として、「やろうと思えばやれた」と判断した場合に限り、私から注意をしています。ここで注意したいのはMIECでは「わからないから宿題をやってこなかった」という理由を認めていません。わからない場合でも、その部分には「?」マークをつけて質問してくれれば宿題をやったことになる就说明しています。ただし、質問するには、少なくとも問題文を読んでいなければなりませんし、辞書や教科書など自分でできる範囲で調べておく必要はあると思います。

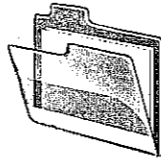
◎ パターン2:質問が多く、教えてもらう時間が長くなりチェックする時間が少ない。

これはあまり問題ではありません。質問され教えている過程でその生徒の様子の変化から「ああ、わかってくれたな」ということがリアルタイムで確信できますから、あとはわずかな時間でチェックは終わるはずですが、ただし、社会や英語のような知識の定着が前提の内容であれば、憶えていなければチェックは進みません。MIECでは「あとは自分で憶えておいてください」という生徒任せ体制は極力避けています。

◎ パターン3:宿題をやっているが、理解度や知識の定着度が低いためやり直しになる。

このパターンが最も問題を抱えることとなります。生徒は「宿題をやりました」というがチェックが進まないわけです。例えば英語で、「宿題の単語の練習をしました」と言い、確かにノートにはきちんと練習されています。しかし、いざチェックをしてみると、スペルミスが多かったり発音ができない状態であったりします。また、数学ならば「ワークをやりました」と言いますが、理解しているならば解けるはずという類題をだしてチェックしてみるとまったく解けない状態。よく聞いてみると答えを丸暗記しているだけであったりします。結局塾で1からやり直しということになるので進捗がはかどらないということになり、宿題が残ってしまうわけです。最大の問題は、生徒自身は「自分は宿

題をやっているのだ」「自分は勉強しているのだ」という錯覚をしていることにあります。集中せずにノートに何度英単語を書いても頭には残りません。自分の力で解いてみるんだという意欲がなければ数学の力はつきません。このパターンの生徒には「これ以上宿題は増やさないので『やってある』という宿題をもう一度しっかりやり直してきてごらん」と言っています。



[MIECの進度表とか、ハンコってなに??]

MIECでは各生徒の学習内容を全て進度表で管理しています。塾で使用する「マスター進度表」と生徒が持ち歩く「自分用進度表」があります。各生徒が授業の最後に今日進んだ部分などを「マスター進度表」から「自分用進度表」に書き写すというルールになっています。お家では自分用進度表をご覧いただけます。生徒によって正確に転写できていない場合、お越しいただければいつでもマスター進度表を閲覧できます。進度表では以下のことがおわかりいただけますので、テストの結果を待つまでもなく、「どれほどの勉強がわかっているのか」はかなり高い確率で知ることができます。

- ① 「学校授業の進度」・・・各生徒のクラスで行われている授業が、5教科の教科書のページでわかります。進んだところには□の中に赤丸がしてあります。
- ② 「MIECからの宿題」・・・□の中に、→のようにある青い矢印が各生徒の宿題です。通常授業の日に、次の通常授業までの宿題として、個別に状況を考慮して出します。
- ③ 「MIECでチェック済み」・・・□の中に赤丸がしてあります。マスター進度表では講師名入りのハンコがついています。
- ④ 「やってありマーク」・・・宿題の□の中に鉛筆で小さな丸がしてあります。これは生徒が「やってあります」ということを意味しています。

[進度表の見方のコツ]

- ◎ 学校進度に対してどれほど学習は追いついているのか。
 - ◎ 教科書や学校ワークブック以外の塾のテキストはどれほど活用できているのか。
 - ◎ 宿題はどれほどやってあるか、いないか。
 - ◎ 「やってある」という宿題がどれほどたまっているのか。
- ★ テスト対策中の期間は宿題の量が普段より増えます。
- ★ 定期テスト範囲は学校や先生によってまちまちですが、柔軟に対応しています。普段MIECで使用していない教材(例えば学校の先生からもらった対策プリント、資料集など)を取り入れて指導しています。各中学校の過去問題もここで指導します。

[なぜMIECの宿題は「多い」と言われるのか?]

MIECは教えて完結する塾ではなく、生徒が消化して完結する塾をめざしています。学校で使用

する教科書や問題集を使用しているのも、学校で未消化に終わっているページが多いという現実からです。そしてMIECの宿題は、理解していなくても体裁よく書いて提出すれば宿題完了となはならず、わからないところの質問の準備、わかる部分は暗記・定着させてくることを「宿題」としてしています。MIECの宿題は作業的にこなすだけでは終わりません。深く学ぶことを宿題としているのです。このような現象を生徒からすると「MIECは宿題が多い!」という言葉に集約されるのだと思います。

[なぜ「宿題が終わらない」のか?]

いつもMIECの授業中に何をやっているかという、生徒がやってきた宿題の[QC]です。Qは質問、Cはチェックです。(※中3のSCでは全体授業もやっています) 優先順はQ⇒Cで、Qで教えてもらってから、Cで本当にわかったかどうか調べられるというスタイルです。日々の授業は、その宿題の完成度をチェックすることそのものです。つまり、「提出して終わる宿題」ではなく、やってきた宿題の取り組み具合を授業できめ細かく一人ひとり点検し、「QCハンコで終わる宿題」となっています。宿題が提出して終わるものではなく、授業で消化できたら初めて終了となるのです。消化とは「本当にわかっている」ということで、・・・それは以下のようなことです。

<英語の例>たとえば英単語の「be from～」を「～の出身」と暗記しているだけではNGで、「それを使って、『私は伊達出身です。』と書いてごらん」と問題を出し、「I am from Date.」と書いてOKでハンコがつけます。生徒によっては「I be from date」などと間違えます。そうすると、be 動詞の解説、地名と人名は大文字で書き始めるルール、文末にはピリオドを、という指導が必要になります。そして、その後、生徒は自分の席でそれをすぐに復習します。またチェックに来ます。「ではわかったなら『あなたは札幌出身です。』と書いてごらん。」と類題を出します。生徒によっては、「You am from Sapporo.」と間違えます。すると、もう一度 be 動詞の説明と、ヘボン式の説明で時間を費やします。更に、「You are は知っていた!」という生徒の場合はポカミスなのですが、それでも「では、『彼らは札幌出身です。』と書いてごらん。」という、「He are from sapporo.」などとポカミスを繰り返し、ハンコがつくまでかなり時間がかかります。もちろん我々講師はポカミスでもハンコは押しません。

<数学の例>

例えば、 $(-5)^2$ の計算問題で、25 と答えだけ書いている生徒に、「途中計算は?」と聞くと、 $-(5 \times 5)$ などと書くと、「それを計算して25にはならないよ。どうして25になったの?」と聞くと「覚えていたから」などと答えます。すると、 $(-5) \times (-5)$ を説明すると同時に、「こういうときに、『この途中計算はどうなりますか?』などと質問すればいいんだよ。」と質問の仕方を教えたりもします。また、半径 a cm と、半径 b cm の同心円 ($a < b$) のドーナツ型の面積を文字を使って求める問題で、「 $\pi b^2 - \pi a^2$ 」と正解を書く生徒のCで、「これはどうやったの?」と聞くと、「覚えてたから・・・」と言います。「大きい円の面積の πb^2 から、小さい円の面積の πa^2 を引いて求めたんだよ。」という、首をかしげています。よく聞くと、円の面積の公式「 πr^2 」を知らなかったという事実が判明し、そこから教えることになります。

このように、ハンコをもらうまでに時間のかかる生徒さんは、質問ができないこと、わかったつもりになってしまっていることが原因です。生徒さんによっては一つの問題でも小学校内容まで掘り下げて教えることもあり、大変時間がかかります。せめて質問をしてくれると、教えるべき内容がすぐにわかるのですが、質問ができない生徒さんでは、どこがわからないかを探し出すだけで時間を費やします。MIECとしては寺子屋・修業による指導時間の拡大は厭いません。ただ、時間のかかる生徒さんの原因を保護者様に詳しく知っていただき時間がかかることをご納得いただきたい、そして月謝料金内の寺子屋・修業に来て教えるためのチャンスと十分なお時間をいただきたいだけです。

【ここで、ハンコを押せるスピードについての傾向をまとめてみました。】

- 早くハンコがつく生徒ほど、Qが多い。※全く逆であるように思えますが、事実です。
- Qが多い生徒はたくさん教える事になり、Cのときにはスムーズにハンコが付きやすい。
- Qが少ない生徒は「早くハンコをもらいたい！」という焦りが先立っていることが多い。
- 不確実なCの多い生徒には、講師は「まだわかっていないのではないかな..。」と慎重になるので、念入りにCに時間をかけるのでハンコはなかなかつきにくい。

G 個 冬期講習会について

【期間】12月度は12/1(土)～12/21(金)までの3週間分、1月度は1/18(金)～1/31(木)の2週間はいつもの通常授業です。そして12月度1週間分と1月度2週間分の合計3週間分を、冬期講習会の授業の一部に振り替えとさせていただきます。 ※12/18(火)・19(水)・20(木)・21(金)の授業は12/15(土)までに消化します。

■従いまして、二学期の通常授業は12月15日(土)が最終日となります。

■そして三学期通常授業は、2019年1月18日(金)よりスタートです！

◎P個の冬休み中の授業時間につきましては、後日個別にご案内いたします。

【対象】 MIECのG個生・SS生 **全員参加**。※P個生自由参加。

【内容】 中1 : 1・2学期の復習 ※範囲が狭い今のうちに固めます。

中2 : 中1～中2の2学期までの復習 ※中学の折り返し地点。

中3 : 高校受験対策、学年末試験対策。

【期間時間システム】

日程表		12/19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1/4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
コマ	時間帯	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
①	小10:30～ 11:20				○	○	○		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○				○	○	○	
②	小11:30～ 12:20 中10:50～	休	休	休	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○		○	○	○				○	○	○	休
③	13:40～15:10			◆	□	□	□		□	□		□	□	□	□	□		□	□	□		道 コン 処理 日					
④	15:20～16:50			◆	□	□	□	休	□	□		□	□	□	□	□	休	□	□	□		休					
⑤	17:00～18:30	◆	◆	◆	◆	◆	◆		◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆		◆	◆	◆							
⑥	18:40～20:10	◆◎	◆	◆◎	◆	◆	◆◎		◆◎	◆		◆◎	◆	◆◎	◆	◆◎		◆◎	◆◎	◆					◎		◎
⑦	20:20～21:50	◎	◆	◎	◆	◆	◎		◎	◆		◎	◆	◎	◆	◎		◎	◎	◆					◎		◎

小学生○より選択 中1中2◆より選択 中3□ 高校生個別指導◎

※中1中2は◆の中から10日間(20コマ)選択です。人数が偏るコマは調整にご協力願います。12/15(土)までに生徒と調整し、コマを決定します。

※一部変更となる場合があります。その場合、迅速にお知らせ致します。

【料金システム】(税込)

G個講習料金	中1・中2	中3
1コマ90分	1,620円	1,700円

◆中①②は全員20コマの選択、中③は全員26コマの選択です。

◆全員、国数社理英の5教科指導となります。※個別にバランス取りします。

◆講習料金は、講習会のコマ数から講習期間3週間分の通常授業コマ数を差し引いたコマ数に発生します。※1月分料金通知書に明記致します。

≪例≫ ～普段はG個週3コマの中2生徒さんの場合～

●講習会20コマから3週間の通常授業9コマを差し引くと...

●20-9=11コマ分の料金 ⇒11×1,620円=17,820円(講習料金)

◆教材費...中3は夏期講習会で使用した『サミングアップ』がメイン教材なのでお持ちの方は購入不要です。中1中2は講習会テキスト(1教科 750円)がメイン教材の予定です。他に実践形式のテスト問題用紙(1年分 650円)や裁量問題対策テキスト(中3)など、必要に応じて個々に配布する教材もございますが、すべて実費です。個別のご料金通知書には明記致します。



【特典】

◆お友達やご兄弟姉妹を紹介していただいた場合、一人紹介につき紹介した塾生の講習料金を10%割引致します！[二人で20%引き、五人で半額] ※紹介されたお友達やご兄弟姉妹は20%割引となる、みんなハッピーシステムです。

★新聞折り込みチラシの「冬得キャンペーン」は新入生対象となっております。皆さまMIEC塾生の料金は元値をお安く設定しておりますので何卒ご了承ください。

【修業について】

講習会中も修業ができます！講習会のコマ以外で活用してください。講習会中は人数が読めないため寺子屋は行いませんが、人数の偏りが少ないコマでは寺子屋のように指導をする予定です！

【申込】

◆G個生は全員参加のため、お申込みは不要です。

★テスト前などの寺子屋や修業の運営のためには、皆様の講習会への積極的な参加が前提となっております。ご理解・ご協力のほど、何卒宜しくお願い致します。

【欠席・遅刻の対応】

◆欠席や遅刻の振替はどのような理由でも行いません。修業で穴埋め願います。

【学力コンクール】

◆日程・タイムテーブルは生徒へ配布の『手引き』に記載。

★道コンは、中1中2は自由参加ですが、できるかぎり受けましょう。

★中3は原則全員参加です。

★料金は一律3,700円(税込)です。

do-con 北海道学力コンクール



【P個の冬期講習について】

◆完全1対1指導のP個の夏期講習については、個別対応とさせていただきます。

冬宿題について(G個)

期末テスト終了後、MIEC恒例の「冬宿題」を各生徒に出します。学校でのテストもなく、あとは冬休みを待つばかり…という雰囲気この時期は、勉強から遠ざかりがち。そこでこの「冬宿題」の強制力を高めることによって、勉強時間の確保を狙っています。ご家族の皆様におかれましても以下の冬宿題ルールをお知り置きいただきたいです。

- 冬宿題は、指導教科の各学年の二学期で修了すべき学習内容から、個別に分量を変えて出す。※指導教科のみの宿題です。
 - 冬宿題は、二学期最終日の12月15日(土)までに通常授業と寺子屋の利用によってできるだけ早く終了させるものとする。
 - もし、12/15(土)より前に終了した生徒は、その時点からMIEC冬休みに入ってよい。※ただし、12/15までの通常授業は希望すればもちろん参加できます。※その後、冬期講習会の初日からMIECに来ることになります。
 - もし、12/15(土)までに終了しなかった場合、12/16(日)は「日曜寺修」になります。
 - それでも終わらない生徒さんは、個別に相談の上、何等かの対策を講じます。
- ★スッキリ冬休みに入れるよう、是非とも12/15(土)までに終わらせましょう！

MIECの『速読』で世界観が変わります！

『MIECの速読』は、一般的に「速読」と称される「斜め読み」や「飛ばし読み」などとは異なります。理解力を落とすことなく、それまでの何倍ものスピードで読めるようになる速読です。MIECの速読は読書スピードが上がるばかりではなく、さまざまな可能

小学生～高校生

速読

- ☑本が好きになる
- ☑集中力が身につく
- ☑テストや受験に役立つ
- ☑動体視力UP



性を引き出します。偏差値UP、受験で実力を発揮できる処理能力UP、さらに動体視力や瞬間認識力UPでスポーツにも役立つのです。速読スキルを身に着けることは、一生の財産・武器となると言っても過言ではありません。

- ★「速読を始めて、**集中力が上がった!**」(小3 母)
- ★「速読を始めてすぐの学力テストで、**国語が10点以上アップした!**」(中3)
- ★「速読を始めて1年で国語の模試の**偏差値が57から72.5に上がった!**」(高3)

これらはMIECの速読生の反響ですが、指導者としても速読効果を強く実感しています。日頃よく努力してわかっている問題なのに、試験本番で失点している生徒をよく見ます。原因は2つ。1つは**集中力不足**によるポカミス。2つ目に制限時間内の**処理能力の欠如**です。「たくさん教えてわかっているはずの生徒が得点できない…」この悲しい事実の救世主が「**MIECの速読**」です!

【MIECの速読の秘密】 ~続けられる面白さ~

何ととっても楽しいことです。速く正確に読むことを毎回のトレーニングで数値化します。そのため、「次はもっと速く!」という前向きさや、「次は〇〇ちゃんに勝つ!」のような良い意味で競争心を煽ります。また「速読力検定」という検定試験を定期的に行い、速読協会から認定書がもらえます。更に毎回のトレーニングはポイント制になっていて、常に飽きさせない工夫が随所に施されています。

【速読英語】 ~長文英語読解に特化したトレーニングです~

高校入試・大学入試の英語では、**長文問題が全体の4分3**を占めています。センター英語の単語数は、2005年で3500語弱だったのが2015年で4500弱。10年で約1,000語UPです。高校入試も然りで、裁量問題に至ってはそれ以上に英語長文のボリュームが激増しています。普段の塾の授業で、文法や語法をよりどころに英文解釈の方法やコツを指導しています。よく理解している生徒さんでも、いざテスト本番で得点に結びつかないケースがあります。これは「**スキル**」不足が原因と思われます。野球の練習を例に挙げますと、コーチからバッティングの知識やテクニックを教わるだけでなく、血肉とするためには素振りや実践で何度も何度も練習した人が実績を残します。そのスキルアップに有効なのが、イチロー選手も多用した**バッティングセンター**です。長文読解の場合、「知識」と「テクニック」が精読【=授業】にあたり、スキルが多読【自己練習】にあたります。昨秋より、MIECでは英語長文読解力のスキルアップのための**バッティングセンター**として、速読英語を導入しました。英語の得点力アップを図りたい

受験生にお勧めです。実際、昨年度の中3高3受験生の受講生からは喜びの声が多数寄せられました。※高3生は全員が速読英語を受講しました。

- ★「模試で100点前後だったのが、英語速読を初めて1カ月で140点取れました!」
 - ★「もし英語速読をやってなかったらと思うとゾッとします。」
 - ★「なんか、英語読めてるな〜って感じします。」
 - ★「もっと早くからやればよかった…」
- (対象)中1生から大学受験生まで受講可能。

まだ速読や英語速読が未体験のMIEC生の皆さんに、以下の「**MIEC速読**」(MIEC生、速読導入特別キャンペーン)を実施します。

- ① 習会期間中に1回、速読・英語速読を無料で体験してもらいます。
- ② 1月度以降、継続となった場合、1月度の速読料金一ヶ月分を免除いたします。
※速読から英語速読への乗り換えの場合、差額1,300円の免除です。
★2月度からの料金は、3,240円/月(英語速読は4,540円/月)となります。

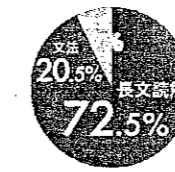
なんと 入学試験の4分の3は長文読解問題

自分のwpm知っていますか?

近年の英語入試では、文章量が増えてくるとともに、登場人物それぞれの意見など細かい部分を正確に把握する必要があり、読解にスピードが要求されます。自分のwpmを知り、向上させることで、試験時の時間を効率的に使い、高得点を目指すことができます。

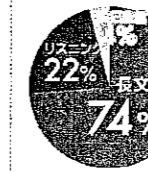
wpm=words per minute, 1分間に読む単語数のこと

◎中学入試のwpm



※2014年英検2次試験

◎大学入試のwpm



※英検2014年長文長

今のスピードで時間内に問題を解けますか!?

※2014年
大学入試センター試験問題 平均4,161 words

試験時間 30分	必要スピード 60wpm	試験時間 30分	必要スピード 120wpm
長さ69分		長さ35分	長さ45分

その他の連絡事項

- 1、繰り返すようで恐縮ですが、期末テスト直前です。外出などのご予定はできるだけテスト後にお願い致します。また、確実な結果を導くために、寺子屋・修業のご利用のご協力をお願い致します。
- 2、寒くなってきました。風邪やインフルエンザの予防に、MIECでは「手洗い」「うがい」を励行しています。ご家庭でもご協力を宜しくお願い致します。
- 3、いつも送迎、ありがとうございます。MIEC駐車場ご利用の際、エンジンを切ってお待ち願います。ご事情でエンジンをつけたままお待ちになる場合は、教室からできるだけ離れた道路側に駐車願います。（授業中に低音のエンジン音が教室内に響き、生徒たちの集中が切れてしまうことがあるため）
- 3、MIECは「ほっとメール」という入退室管理を行っております。ご登録いただいた保護者様の携帯電話やパソコンに入室時と退室時に送信されるシステムです。「登録してあるのに送信されない」や「新たに登録したい」、または「やはり不要なので解除したい」というご希望がございましたらご遠慮なくお申し付けください。※生徒は毎回の入退室時にカードをリーダーに通すことになっておりますが、通し忘れた場合は送信されません。
- 4、ご周知の通り、MIECはEメールを保護者様との主な連絡ツールとしております。迅速かつ確実な通信を可能にするために、どうか、MIECとのメール送受信履歴の無い方、アドレスが変更になった方は、是非お知らせください。
☆一部、パソコンからのメールを拒否するモードになっておられる保護者様がいらっしゃいます。こちらのアドレス「info@miec.biz」だけは受信できる設定にさせていただきますよう、宜しくお願い致します。※携帯電話のショップで設定サービスを受けられます。
- 5、LINEのご登録をお勧めしております。緊急時などに役立てます。メールと並行して使用して参ります。ラインができる方は「学習塾 MIEC」を友達に追加してくださいよう、宜しくお願い致します。
 - ◆グループトークではありません。MIECと保護者様や生徒さん一人ひとりのトークです。
 - ◆以下の2パターンの中から、「MIEC」を友達に追加してください。
 - ①MIECのトークID⇒ info@miec
 - ②QRコード⇒
- 6、MIECをご愛好いただいている皆様からのご紹介は、他のどんな広告・宣伝よりも影響力があり、なんと申しましても私どもMIECスタッフの誇りにつながります。ご友人、お知り合い様等へのご紹介をどうぞ宜しくお願い致します。

- 7、MIECの中学生通常授業は**12月15日(土)**が**二学期最終日**で、**冬期講習会期間を、12月19日(水)～1月17日(木)**とし、三学期は**1月18日(金)**より開始です。

MIEC個別懇談会のご案内

直接保護者の皆様とお会いして、お子様についてお話しさせていただくことは、お互いに非常にメリットがあると確信しております。保護者様と塾の情報交換は、私どもの指導に大いに役立つことはもちろん、懇談を重ねることで生徒さんの学習スタイルが改善されたりするケースもございます。お忙しい中恐縮ですが、どうかお時間を頂き、お越しいただけますよう、宜しくお願い致します。

※今回は期末テスト前より長期間行います。お気軽にどうぞ。

- ◎ 対象 : 塾長(小野)や担当講師との懇談ご希望の保護者様。
- ◎ 内容 : ◆お子様の学習状況に関する情報交換。
 - ◆コースの再検討(指導教科について、コマ数について、など)
 - ◆冬休み中の調整について。
 - ◆進路についてなど。その他全般ご相談。
- ◎ 日時 : **11月10日(土)～12月14日(金)**の原則午前10時以降の授業時間以外で調整させていただきます。
※テスト直前は時間制限が多くなります。すみません。
- ◎ 申込 : Eメールかラインでお願い致します。
※先着順に時間が埋まってしまう可能性があります。お忙しい方ほど、早めのお申し込みをおすすめしております。

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました！ また、お願いごとばかりで恐縮ですが、生徒さんたちの学力向上のために講師スタッフ一堂邁進して参りますので、今後ともご理解・ご協力のほど、何卒宜しくお願い致します。

